

2022年3月11日

報道機関 各位

## RECNA／長崎大学多文化社会学部、グローバル巨大リスク研究プロジェクト（NURESCA）共催イベントのご案内 「緊急討論：ウクライナ危機」

2022年2月24日に始まった、ロシアのウクライナ侵攻は、すでに多くの犠牲者と破壊を生んでいます。核大国ロシアのプーチン大統領は、核兵器の警戒態勢を高めるなど、核兵器の使用を示唆する動きまで示しています。冷戦終了後、築き上げてきた国際秩序を大きく揺らがせるこの戦争を、どうとらえればいいのか。

長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）と同多文化社会学部、グローバル巨大リスク研究プロジェクト（NURESCA）の共催で、緊急討論会を開催することになりました。外部からはロシアをはじめ国際情勢やロシア政治史に精通する下斗米伸夫法政大学名誉教授に話題提供をしていただき、その後長崎大学の教授陣との間で、パネル討論を行います。ウクライナ危機について、少しでも理解を深め、解決に向けて被爆地長崎の役割を考えます。

ぜひ御取材いただけますようお願い申し上げます。

### 記

■日時：2022年3月16日（水） 午前10:00~12:00

■開催方法：Zoom ウェビナーによるオンライン配信

申込フォーム URL：<https://forms.gle/4uWjGveBECjpaM338>

（申込期限：3月15日（火）正午）

■登壇者：話題提供：下斗米伸夫 法政大学名誉教授、神奈川大学特別招聘教授  
「ウクライナ戦争考—挫折したミンスクIII」

パネル討論：

司会：鈴木 達治郎 RECNA 副センター長・教授

討論者：森川 裕二 多文化社会学部 教授

コンペル・ラドミール 同 准教授

吉田 文彦 RECNA センター長・教授

朝長 万左男 RECNA 客員教授

日赤長崎原爆病院名誉院長

下斗米 伸夫 法政大学名誉教授

### 【本リリースに関するお問い合わせ先】

核兵器廃絶研究センター総務係 TEL 095-819-2164/ FAX 095-819-2165

E-mail [recna\\_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp](mailto:recna_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp)